

平成 2 9 年度事業報告書

(平成 2 9 年 4 月 1 日～平成 3 0 年 3 月 3 1 日)

1. 会務

(1) 総会の開催

1) 第74回定時総会

- ア 開催期日 平成29年6月26日(月)
- イ 開催場所 群馬県JAビル10階 第2会議室
- ウ 議事と決議事項
- 第1号議案 平成28年度貸借対照表、正味財産増減計算書承認の件
- 第2号議案 平成29年度役員報酬の件
- 第3号議案 平成29年度会費並びに納入時期の件
- 第4号議案 監事選任の件
- 付帯決議

(2) 会議の開催

1) 理事会

開催期日	開催場所	決議事項
29.6.8	群馬県JAビル 役員会議室	(1)平成28年度業務報告、計算書類等の承認について (2)第74回定時総会の招集について (3)第74回定時総会に提出する議題について (4)理事の自己取引承認について (5)監事候補者の選任について
29.11.29	群馬県JAビル 役員会議室	(1)平成29年度変更事業計画及び収支補正予算の承認について (2)育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に伴う規則の廃止及び制定、ならびに関連する規則の一部改正について (3)期間任用職員の採用に伴う就業規則等の一部改正について (4)印章等管理規程の一部改正について (5)職務規程の一部改正について
30.3.19	群馬県JAビル 特別会議室	(1)平成30年度事業計画及び収支予算の承認について (2)肉用子牛生産者補給金制度業務規程の一部改正について (3)育児・介護休業法の改正に伴う規則の一部改正について (4)職員給与規程の一部改正について

2) 監査会

開催期日	開催場所	内容
29.6.2	群馬県 J A ビル 第 6 会議室	(1) 平成 2 8 年度業務報告について (2) 平成 2 8 年度計算書類について

(3) 職務執行状況の報告

期日	報告場所	内容
29.6.8	群馬県 J A ビル 役員会議室	(1) 職務執行状況報告
29.11.29	群馬県 J A ビル 役員会議室	(1) 職務執行状況について (2) 会員の入退会について
30.3.19	群馬県 J A ビル 特別会議室	(1) 職務執行状況について (2) 理事の辞任について

2. 組織

(1) 会員

種別	29 年度初	増加数	減少数	29 年度末
正会員	5 3			5 3
特別会員	2 9			2 9
賛助会員	5	1	1	5
計	8 7			8 7

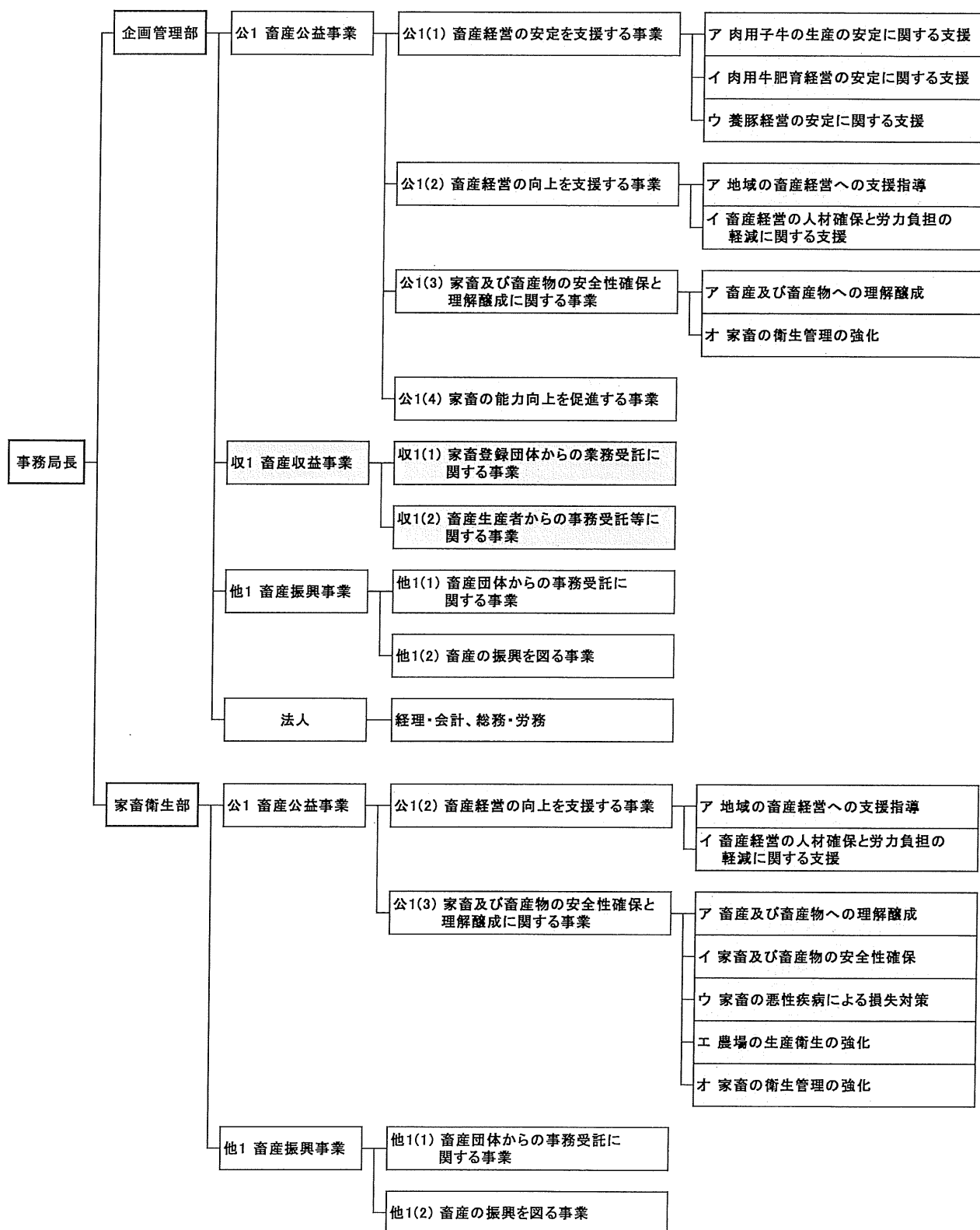
(2) 役職員数 (平成 2 9 年度末)

役員				職員		
理事		監事	計	職員*	期間契約 ・ 嘱託	計
非常勤	常勤					
1 4	1	3	1 8	1 5	9	2 4

* 群馬県農業協同組合中央会からの出向職員 1 名を含む

(3) 事業・事務局組織体系図

下図のとおり



3. 実施事業の実績

(1) 概要

平成29年度においては、公益目的事業65事業、収益等事業15事業の合計80事業を実施しました。

公益目的事業のうち**畜産経営の安定を図る事業**においては、高価格で推移している、もと牛導入の影響が大きい肥育牛経営に対して、肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン）による補てんが交雑種において昨年度を大きく上回り交付されました。一方、肉用子牛、肉豚においては、前年同様、販売価格の高値が続いたことから、基金の発動は行われませんでした。

畜産経営の向上を図る事業においては、経営実績に基づく改善情報の提供、各種調査や畜産特別資金の指導事業を継続的に行ったほか、畜産クラスターに関連しての調査、酪農経営体に対して高度化機械設備の導入により労働時間の軽減を図る事業を新たに実施しました。また、T P P 総合関連対策として事業開始となった畜産クラスター事業について、引き続き本会が機械導入事業の県窓口として、クラスター計画に基づく導入申請等を行いました。

家畜および畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業では、B S E対策としての死亡牛処理円滑化等の事業を引き続いて実施し、新たに養豚生産農場においてP R R Sの発生低減等を図るための農場指導や検査を行うとともに、農場からの要望が多くなったH A C C Pをより一層推進する事業を行いました。また、畜産への消費者の理解を促進するために、牧場体験やイベントにおける広報活動を実施しました。

さらに、**家畜の能力向上を促進する事業**では、優良種畜の導入や飼養頭数増加に取り組む生産者への支援、各畜種の共進会開催を行いました。また、昨年9月に開催された第11回全国和牛能力共進会への出品対策及び支援を実施しました。

収益等事業では、前年に引き続き乳牛、和牛、豚、山羊の各家畜の血統登録を積極的に推進したほか、養豚の価格差補てん事業への参加に必要な事務を生産者から受託して行いました。また、県内生産者団体等からの事務を受託して、地域の畜産振興に努めました。

平成29年度は前年と同様に畜産物価格は比較的堅調な推移でしたが畜産統計や価格差補てん関係事業への加入頭数等を見ると、依然、生産基盤の縮小が続いていることは明らかなです。今後、本協会としても既存事業を継続して行うとともに、畜産を取り巻く中長期的な課題や実態を十分に踏まえて、引き続き生産者の意欲を高めるための対策、生産基盤を支援する事業に積極的に取り組んでいく必要があると考えます。

(2) 事業の実施状況

1) 実施事業内訳

事業区分	補助 事業	助成 事業	特別 事業	受託 事業	家畜 登録	団体 事務	生産者 事務	自主 事業	計
公 1(1)経営安定支援	3			1				1	5
公 1(2)経営向上支援	7		1	9				9	26
公 1(3)安全・理解醸成	5	1		8				8	22
公 1(4)能力向上	4		4	1				3	12
収 1(1)家畜登録					6				6
収 1(2)生産者事務							1		1
他 1 団体事務						8			8
合計	19	1	5	19	6	8	1	21	80

2) 補助元等区分別実施事業内訳

補助元等区分	補助 事業	助成 事業	特別 事業	受託 事業	家畜 登録	団体 事務	生産者 事務	自主 事業	計
農林水産省	3								3
群馬県	7								7
農畜産業振興機構	7			1					8
地方競馬全国協会	1								1
家畜登録団体					6				6
その他団体	1	1		18					20
事務受託先						8			8
その他			5				1		6
自己資金								21	21
合計	19	1	5	19	6	8	1	21	80

平成29年度実施事業一覧

NO	事業名	会計区分	事業区分	事業種別	主な財源
1	肉用子牛生産者補給金制度	公1(1)経営安定支援事業	ア 肉用子牛の生産の安定に関する支援	補助事業	農畜産業振興機構
2	肉用牛肥育経営安定特別対策事業	公1(1)経営安定支援事業	イ 肉用牛肥育経営の安定に関する支援	補助事業	農畜産業振興機構
3	畜産物価格安定推進事業	公1(1)経営安定支援事業	イ 肉用牛肥育経営の安定に関する支援	補助事業	群馬県
4	価格安定推進支援事業	公1(1)経営安定支援事業	イ 肉用牛肥育経営の安定に関する支援	自主事業	自己資金
5	養豚経営安定対策事業	公1(1)経営安定支援事業	ウ 養豚経営の安定に関する支援	受託事業	農畜産業振興機構
6	地域畜産支援指導等体制強化事業	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	補助事業	地方競馬全国協会
7	経営流通対策事業（経営指導推進）	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	補助事業	群馬県
8	畜産特別資金等推進指導事業	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	補助事業	中央畜産会
9	公庫資金活用推進事業（農業経営サポート調査）	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	受託事業	中央畜産会
10	女子力発揮推進事業	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	受託事業	中央畜産会
11	畜産クラスター機械導入事業	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	受託事業	中央畜産会
12	畜産クラスター全国実態調査事業	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	受託事業	中央畜産会
13	貸付事業指導等事業	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	受託事業	畜産近代化リース協会
14	畜産高度化支援リース事業	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	受託事業	畜産環境整備機構
15	乳用種初生牛生産費調査事業	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	受託事業	中央畜産会
16	酪農経営体生産性向上緊急対策事業	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	受託事業	中央畜産会
17	鶏卵生産者経営安定対策事業	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	受託事業	その他（県養鶏協会）
18	公共牧場活性化支援事業	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	自主事業	自己資金
19	畜産環境保全支援事業	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	自主事業	自己資金
20	畜産協会情報提供事業	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	自主事業	自己資金
21	豚枝肉格付分析情報提供事業	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	自主事業	自己資金
22	経営セミナー事業	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	自主事業	自己資金
23	肉用牛経営データ利用事業	公1(2)経営向上支援事業	ア 地域の畜産経営への支援指導	自主事業	自己資金
24	獣医師養成確保修学資金貸与事業	公1(2)経営向上支援事業	イ 畜産経営の人材確保と努力負担の軽減に関する支援	補助事業	農林水産省
25	酪農経営安定化支援ヘルパー事業	公1(2)経営向上支援事業	イ 畜産経営の人材確保と努力負担の軽減に関する支援	補助事業	農畜産業振興機構
26	酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業	公1(2)経営向上支援事業	イ 畜産経営の人材確保と努力負担の軽減に関する支援	補助事業	農畜産業振興機構
27	酪農ヘルパー労働環境整備事業	公1(2)経営向上支援事業	イ 畜産経営の人材確保と努力負担の軽減に関する支援	補助事業	農畜産業振興機構
28	酪農ヘルパー事業円滑化支援事業	公1(2)経営向上支援事業	イ 畜産経営の人材確保と努力負担の軽減に関する支援	特別事業	自己資金
29	畜産人材確保育成事業	公1(2)経営向上支援事業	イ 畜産経営の人材確保と努力負担の軽減に関する支援	自主事業	自己資金
30	畜産生産体制支援事業	公1(2)経営向上支援事業	イ 畜産経営の人材確保と努力負担の軽減に関する支援	自主事業	自己資金
31	酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業事務費	公1(2)経営向上支援事業	イ 畜産経営の人材確保と努力負担の軽減に関する支援	自主事業	自己資金
32	生産振興対策事業（県産鶏卵販売強化）	公1(3)安全及び理解醸成事業	ア 畜産及び畜産物への理解醸成	補助事業	群馬県
33	地方競馬支援対策事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	ア 畜産及び畜産物への理解醸成	自主事業	自己資金
34	畜産普及啓発推進事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	ア 畜産及び畜産物への理解醸成	自主事業	自己資金
35	牧場宿泊体験交流事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	ア 畜産及び畜産物への理解醸成	自主事業	自己資金
36	群馬の堆肥普及事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	ア 畜産及び畜産物への理解醸成	自主事業	自己資金
37	死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	イ 家畜及び畜産物の安全性確保	補助事業	農林水産省
38	牛せき柱適正管理推進事業促進費交付業務	公1(3)安全及び理解醸成事業	イ 家畜及び畜産物の安全性確保	受託事業	日本畜産副産物協会
39	家畜防疫互助基金支援事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	ウ 家畜の悪性疾病による損失対策	補助事業	農畜産業振興機構
40	家畜生産農場清浄化支援対策事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	エ 農場の生産衛生の強化	補助事業	農林水産省
41	群馬県種鶏場等衛生対策事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	エ 農場の生産衛生の強化	自主事業	自己資金
42	生産振興対策事業（優良はちみつ生産）	公1(3)安全及び理解醸成事業	オ 家畜の衛生管理の強化	補助事業	群馬県
43	予防注射推進強化対策事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	オ 家畜の衛生管理の強化	助成事業	中央畜産会
44	農場HACCP取組体制緊急強化事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	オ 家畜の衛生管理の強化	受託事業	中央畜産会
45	農場HACCP推進支援事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	オ 家畜の衛生管理の強化	自主事業	自主事業
46	地域豚疾病緊急対策推進事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	オ 家畜の衛生管理の強化	受託事業	中央畜産会
47	飼養衛生管理基準等緊急啓発普及促進事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	オ 家畜の衛生管理の強化	受託事業	中央畜産会
48	馬飼養衛生管理特別対策事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	オ 家畜の衛生管理の強化	受託事業	中央畜産会
49	馬伝染性疾病防疫推進対策事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	オ 家畜の衛生管理の強化	受託事業	中央畜産会
50	地域自衛防疫体制推進事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	オ 家畜の衛生管理の強化	受託事業	家畜衛生対策推進協議会
51	野生獣衛生体制整備推進確立対策事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	オ 家畜の衛生管理の強化	受託事業	家畜衛生対策推進協議会
52	農場飼養衛生管理強化推進事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	オ 家畜の衛生管理の強化	自主事業	自己資金
53	家畜衛生推進事業	公1(3)安全及び理解醸成事業	オ 家畜の衛生管理の強化	自主事業	自己資金
54	肉用牛経営安定対策補完事業	公1(4)能力向上促進事業		補助事業	農畜産業振興機構
55	生産振興対策事業（家畜登録促進）	公1(4)能力向上促進事業		補助事業	群馬県
56	生産振興対策事業（乳牛等改良促進）	公1(4)能力向上促進事業		補助事業	群馬県
57	生産振興対策事業（高能力種豚安定供給体制確立）	公1(4)能力向上促進事業		補助事業	群馬県
58	高能力繁殖雌牛保留推進事業	公1(4)能力向上促進事業		特別事業	家畜改良積立金
59	和牛全共出品対策事業	公1(4)能力向上促進事業		特別事業	家畜改良積立金
60	家畜共進会運営強化推進事業	公1(4)能力向上促進事業		特別事業	家畜改良積立金
61	育種価評価活用促進事業	公1(4)能力向上促進事業		特別事業	家畜改良積立金
62	肉用牛産肉能力平準化促進事業	公1(4)能力向上促進事業		受託事業	家畜改良事業団
63	山羊生産活用推進事業	公1(4)能力向上促進事業		自主事業	自己資金
64	和牛期待育種価情報提供サービス事業	公1(4)能力向上促進事業		自主事業	自己資金
65	家畜共進会褒賞交付事業	公1(4)能力向上促進事業		自主事業	自己資金
66	家畜登録事業（乳牛・ホルスタイン）	収1(1)家畜登録事業		家畜登録事業	家畜登録事業

平成29年度実施事業一覧

NO	事業名	会計区分	事業区分	事業種別	主な財源
67	家畜登録事業（乳牛・ジャージー）	収1(1)家畜登録事業		家畜登録事業	家畜登録事業
68	家畜登録事業（和牛）	収1(1)家畜登録事業		家畜登録事業	家畜登録事業
69	家畜登録事業（和牛・家畜改良事業団）	収1(1)家畜登録事業		家畜登録事業	家畜登録事業
70	家畜登録事業（種豚）	収1(1)家畜登録事業		家畜登録事業	家畜登録事業
71	家畜登録事業（山羊・細羊）	収1(1)家畜登録事業		家畜登録事業	家畜登録事業
72	養豚経営安定対策推進事業	収1(2)生産者事務受託事業		生産者事務受託	自己資金
73	群馬県乳牛改良協会事業	他1(1)団体事務受託事業		団体事務受託	事務受託（団体）
74	群馬県和牛改良組合連絡協議会事業	他1(1)団体事務受託事業		団体事務受託	事務受託（団体）
75	群馬県養豚協会事業	他1(1)団体事務受託事業		団体事務受託	事務受託（団体）
76	群馬県養鶏協会事業	他1(1)団体事務受託事業		団体事務受託	事務受託（団体）
77	群馬県種鶏ふ卵協会事業	他1(1)団体事務受託事業		団体事務受託	事務受託（団体）
78	群馬県養蜂協会事業	他1(1)団体事務受託事業		団体事務受託	事務受託（団体）
79	群馬県家畜人工授精師協会事業	他1(1)団体事務受託事業		団体事務受託	事務受託（団体）
80	群馬県畜産技術連盟事業	他1(1)団体事務受託事業		団体事務受託	事務受託（団体）

（３）実施事業の内容

【公益目的事業１】畜産経営の安定向上を支援し安全で良質な畜産物の生産を促進する事業

（１）畜産経営の安定を支援する事業

ア 肉用子牛の生産の安定に関する支援

① 肉用子牛生産者補給金制度（補助：農畜産業振興機構）

販売又は自家保留された肉用子牛に対し、四半期ごとの平均売買価格が保証基準価格を下回った場合に差額の全額を、合理化目標価格を下回った場合に差額の 9/10 を生産者補給金として対象者に交付する制度ですが、本年度の交付はありませんでした。（肉用子牛生産者補給金制度）

肉用子牛平均売買価格が発動基準を下回った場合には、差額の 3/4 を支援金として交付する事業ですが、これも交付はありませんでした。（肉用牛繁殖経営支援事業）

肉用子牛生産者補給金制度の運営体制を維持するために必要な事務を実施しました。

契約戸数： 337 戸（うち経営支援参加戸数 161 戸）

登録頭数： 10,878 頭

（黒毛和種 2,222 頭、交雑種 7,532 頭、乳用種 1,124 頭
その他肉専 0 頭）

①基金造成状況（肉用子牛生産者補給金制度）

品種区分	登録頭数 ①	生産者 積立金単価 ②	地域基金造成額			合計 ③+④+⑤
			生産者 ③	群馬県 ④	機構 ⑤	
黒毛和種	2,222	1,200	666,600	666,600	1,333,200	2,666,400
褐毛和種	0	4,600	0	0	0	0
交雑種	7,532	2,400	4,519,200	4,519,200	9,038,400	18,076,800
その他肉専	0	12,400	0	0	0	0
乳用種	1,124	6,400	1,798,400	1,798,400	3,596,800	7,193,600
計	10,878		6,984,200	6,984,200	13,968,400	27,936,800

②補給金交付状況（肉用子牛生産者補給金制度）

品種区分	交付対象		補給金 交付額	発動 有無
	契約者数	頭数		
黒毛和種				—
褐毛和種				—
交雑種				—
その他肉専				—
乳用種				—
計	0	0	0	

③支援金交付状況（肉用牛繁殖経営支援事業）

品種区分	交付対象		支援金 交付額	発動 有無
	契約者数	頭数		
黒毛和種				—
褐毛和種				—
その他肉専	0	0	0	○
計	0	0	0	

イ 肉用牛肥育経営の安定に関する支援

② ①肉用牛肥育経営安定特別対策事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用肥育牛の粗収益が生産コストを下回った場合にその差額の一部を補てんする全国的な仕組みにおいて、契約生産者の肥育牛について申し込みにより個体登録事務をおこなうとともに、交付基準を満たした品種等について補てん金を交付しました。補てんは通常、四半期を単位としますが、肉用牛肥育経営の状況を反映し、前年に引き続き、毎月交付を前提とした事務処理を行いました。

契約戸数： 250 戸

登録頭数： 25,268 頭

（黒毛和種 9,814 頭、交雑種 13,541 頭、乳用種 1,910 頭）

補てん戸数： 延べ 1,314 戸

補てん頭数： 14,395 頭

（黒毛和種 0 頭、交雑種 12,676 頭、乳用種 1,719 頭）

①基金造成状況（肉用牛肥育経営安定特別対策事業）

品種区分	積立頭数 ①	生産者積 立金単価 ②	基金造成額		合計 ③+④
			生産者 積立金 ③=①×②	補助金④	
肉専用種	26	10,000	260,000	780,000	1,040,000
	9,905	6,000	59,430,000	178,290,000	237,720,000
交雑種	15	25,000	375,000	1,125,000	1,500,000
	13,270	19,000	252,130,000	756,390,000	1,008,520,000
乳用種	2	26,000	52,000	156,000	208,000
	1,896	22,000	41,712,000	125,136,000	166,848,000
計	25,114		353,959,000	1,061,877,000	1,415,836,000

②補助金交付状況（肉用牛肥育経営安定特別対策事業）

品種区分	交付対象		補てん金 交付額	(参考) 平成28年度 補てん金交付額
	契約者数 (延べ)	頭数		
肉専用種	0	0	0	0
交雑種	1,203	12,676	680,440,300	79,233,900
乳用種	111	1,719	78,648,000	71,186,300
計	1,314	14,395	759,088,300	150,420,200

2 ②肉用牛肥育経営安定特別対策事業〔緊急支援金返還業務〕（補助：農畜産業振興機構）

原子力発電所事故の影響をうけ出荷自粛や牛枝肉価格下落により資金繰りが悪化した肉用牛肥育経営に、平成23年度において返還条件付補助金を交付した事業の支援金返還事務を実施しました。

対象戸数： 2戸

3 畜産物価格安定対策事業（補助：群馬県）

肉用牛肥育経営安定特別対策事業における契約頭数の増加を図るため、の生産者積立金の一部（加入頭数の増加分）に補助を行いました。

補助戸数： 80戸

補助頭数： 1,517頭

（黒毛和種 692頭、交雑種 802頭、乳用種 23頭）

4 価格安定推進支援事業（自主）

肉用子牛生産者補給金制度、肉用牛肥育経営安定特別対策事業の価格安定事業について円滑な運営をおこなうための支援を行いました。

対象事業： 肉用子牛生産者補給金制度

肉用牛肥育経営安定特別対策事業

ウ 養豚経営の安定に関する支援

5 養豚経営安定対策事業（受託：農畜産業振興機構）

農畜産業振興機構が実施する粗収益が生産コストを下回った場合に、生産者と国の積立金から差額の8割を補てんする事業（養豚経営安定対策事業）に関する事業説明会の開催、事業関係者からの照会対応・連絡調整等の事務を実施しました。

対象戸数： 162戸

（２）畜産経営の向上を支援する事業

ア 地域の畜産経営への支援指導

〔６〕 地域畜産支援指導等体制強化事業（補助：地方競馬全国協会）

地方競馬全国協会の補助金を活用して畜産経営の高度化に必要な情報の提供や多様なニーズに対応した経営指導、一般消費者の畜産に対する理解醸成のための活動を行うほか馬事振興等、畜産業を振興するための活動を実施しました。

対象事業： 12 事業

〔７〕 経営流通対策事業（経営指導推進）（補助：群馬県）

畜産経営の経営改善計画、資金利用計画等の作成・達成のための個別支援、畜産経営データベース等の情報化技術を活用した個別・集団支援、畜産経営の高度化に必要な情報の提供や支援、企業の経営等の多様なニーズに対応した経営支援等を実施しました。また、消費者等から求められる安全で安心な国産畜産物の生産、資源循環の中心としての畜産の役割を十分に果たす観点から、畜産農家が求める経営技術に有用な情報を提供しました。

個別指導：	20 戸
集団指導：	3 回
計画作成支援：	27 回
計画達成支援：	42 回
生産支援（個別）：	637 回
生産支援（集団）：	2 回
情報提供：	1,288 回

〔８〕 畜産特別資金等推進指導事業（補助：中央畜産会）

借入金の償還に困難が生じている経営に低利、長期で貸付された畜産特別資金借入者の経営改善を促進するために、指導推進協議会の設置、計画達成指導、経営分析による個別指導等を実施しました。

対象戸数： 20 戸

〔９〕 公庫資金活用推進事業（農業経営サポート調査）（受託：中央畜産会）

日本政策金融公庫資金の貸付先等を対象に、計画作成支援、計画達成支援等を実施しました。

対象戸数： 1 戸

〔１０〕 女子力発揮推進事業（受託：中央畜産会）

畜産経営に参画している女性を参集し、意見交換等を行うとともに、勉強会等の開催により地域の女性リーダーの育成を図りました。

勉強会：	11 回
地域交流会：	3 回

1 1 畜産クラスター機械導入事業（受託：中央畜産会）

畜産クラスター事業のうち機械導入事業について、その円滑な実施を図るため、参加要望書の取りまとめ、申請業務等、事業推進を行いました。

とりまとめ数： 36 件

1 2 畜産クラスター全国実態調査事業（受託：中央畜産会）

優良な経営管理技術を有する経営体の経営成果等を調査し、課題解決に取り組む経営情報として情報提供しました。

調査数： 3 戸

1 3 貸付事業指導等事業（受託：畜産近代化リース協会）

畜産近代化リース協会が生産者に貸付けた機械・車両等の保守管理及び適正な使用に関する指導及び調査を実施しました。

対象数： 13 件

1 4 畜産高度化支援リース事業（受託：畜産環境整備機構）

畜産高度化支援リース事業のリース物件について、その貸付申請、検収実施および指導等を行いました。

対象数： 1 件

1 5 乳用種初生牛生産費調査事業（受託：中央畜産会）

酪農経営より生産される2ヵ月未満の乳用スモール子牛の生産実態調査を行いました。

調査数： 5 戸

1 6 酪農経営体生産性向上緊急対策事業（受託：中央畜産会）

高度化機械・施設の導入により、労働時間の低減を行い生産性向上を図る酪農経営体、楽酪応援会議に対して交付申請等の支援を行いました。

協議会数： 6 協議会

対象戸数： 11 戸

1 7 鶏卵生産者経営安定対策事業（受託：群馬県養鶏協会）

群馬県養鶏協会会員以外を対象に鶏卵生産者経営安定対策事業の報告書類、生産者積立の状況管理、羽数確認の現地調査等の事務を行う事業ですが、本年度の対象はありませんでした。

18 公共牧場活性化支援事業（自主）

家畜の育成等を目的とした公共牧場の牧場職員及び関係者を対象に管理技術等に関する研修会を開催しました。

研修会： 1回 （平成30年3月14日）

19 畜産環境保全支援事業（自主）

補助事業等により設置した家畜排せつ物処理施設の抱えている課題等に関する現地調査および現地指導を実施、さらに畜産環境保全に必要な知識の涵養を図る研修会を開催し、家畜ふん尿の適切な処理を推進しました。

現地調査及び指導戸数： 1戸

研修会： 1回 （平成30年2月5日）

20 畜産協会情報提供事業（自主）

畜産農家に有用な情報等を収集し、情報誌として生産者、関係団体等に配布するとともに、本会ホームページ等を活用し広く情報提供を行いました。

発行回数： 4回

21 豚枝肉格付分析情報提供事業（自主）

豚枝肉格付データを収集し、独自の分析を加えた高品質豚肉生産のための情報を提供しました。

対象戸数： 70戸

22 経営セミナー事業（自主）

畜産経営体が高度化技術等の情報を取得するため、研修会等を開催しました。

研修会： 1回 （平成30年1月30日）

23 肉用牛経営データ利用事業（自主）

経営評価システムに参加した肉用牛生産者に対して繁殖成績等技術データを収集、分析し、その成績を経営平均と比較することにより経営改善を促しました。

対象戸数： 3戸

イ 畜産経営の人材確保と労力負担の軽減に関する支援

24 獣医師養成確保修学資金貸与事業（補助：農林水産省）

群馬県内で産業動物獣医師になることを希望する獣医学生に共同負担者分と併せて修学資金を貸与しました。

対象学生数： 15人

2 5 酪農経営安定化支援ヘルパー事業（補助：農畜産業振興機構）

酪農従事者の病気等により増加した酪農ヘルパー利用料、酪農ヘルパー業務において生じた財物損害保険料及び臨時ヘルパーの傷害保険料の一部を補助しました。

対象組合数： 11 組合

2 6 酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業（補助：農畜産業振興機構）

酪農従事者の病気等により増加した酪農ヘルパー利用料の負担を軽減するための互助基金に対しての補助を行いました。

加入人数： 753 名

2 7 酪農ヘルパー労働環境整備事業（補助：農畜産業振興機構）

酪農ヘルパーの出役中の事故等に備えるため補償制度を構築しました。

対象組合数： 11 組合

2 8 酪農ヘルパー事業円滑化支援事業（特別：円滑化支援基金）

酪農ヘルパー利用組合の運営、要員確保・育成等に必要な経費を補助しました。

対象組合数： 11 組合

2 9 畜産人材確保育成事業（自主）

畜産農家の雇用、新規参入、継承のための相談等を実施しました。研修活動の実施はありませんでした。

就業相談等： 19 人

3 0 畜産生産体制支援事業（自主）

酪農および肉用牛の生産体制を支援するため、畜産ヘルパーにおける支援体制の構築とその活用を図り、生産者の傷病時等における労働負担の軽減を図るために打合せを行いました。

打合会議： 4 回

3 1 酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業事務費（自主）

酪農ヘルパー互助見舞金の交付事務等を実施しました。

対象件数： 34 件

（3）家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成を図る事業

ア 畜産及び畜産物への理解醸成

3 2 生産振興対策事業（県産鶏卵販売強化）（補助：群馬県）

銘柄卵の啓発資材を作成し、県産銘柄卵を含む鶏卵の消費拡大を図りました。

イベント回数： 1 回 （平成 29 年 8 月 20 日）

パンフレット作成： 1,500 部

3 3 地方競馬支援対策事業（自主）

地方競馬の振興と群馬県産畜産物の知名度向上を図るため、浦和競馬場において冠レースを開催し、副賞授与を行いました。

イベント回数： 1回 （平成 29 年 11 月 21 日）

3 4 畜産普及啓発推進事業（自主）

一般消費者を対象に、畜産への理解を深めるための資料や畜産物の配賦を行いました。

イベント回数： 1回 （平成 29 年 10 月 28 日～29 日）

3 5 牧場宿泊体験交流事業（自主）

酪農場において、搾乳、飼料給与、畜産物加工などの体験交流を実施し、畜産への理解を醸成しました。

日帰型（民間牧場他）： 1回、43人 （平成 29 年 8 月 24 日）

1泊型（神津牧場）： 1回、6組 12人 （平成 29 年 8 月 2 日～3 日）

3 6 群馬の堆肥普及事業（自主）

一般消費者を対象に、畜産堆肥の有用性に関する啓発資料の配布を実施し、畜産に対する理解醸成と堆肥の利用促進を図りました。

イベント回数： 1回 （平成 29 年 10 月 21 日）

イ 家畜及び畜産物の安全性確保

3 7 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（補助：農林水産省）

48ヶ月令以上の死亡牛の B S E 検査に要する運賃、検査料を補助し、B S E 検査の円滑な実施を図りました。

補助頭数： 1,644 頭

3 8 牛せき柱適正管理推進事業促進費交付業務（受託：日本畜産副産物協会）

特定危険部位である牛せき柱の適正な管理を実施した食肉処理事業者に支払われる促進費の交付に必要な確認事務を実施しました。

対象事業者数： 4 社

ウ 家畜の悪性疾病による損失対策

3 9 家畜防疫互助基金支援事業（補助：農畜産業振興機構）

海外悪性伝染病が発生した場合に、淘汰した牛、豚の代替畜の導入費用の一部を生産者等が互助補償する全国的な仕組みについて、生産者に対する普及啓発、参加手続き事務等を実施しました。

牛農場： 747 戸 96,432 頭

豚農場： 171 戸 598,132 頭

エ 農場の生産衛生の強化

4 0 家畜生産農場清浄化支援対策事業（補助：農林水産省）

ヨーネ病牛のとう汰、牛白血病浸潤農場の検査および吸血昆虫媒介疾病等の発生・流行防止、牛ウイルス性下痢・粘膜病および豚オーエスキー病の検査ならびに陽性牛・陽性豚のとう汰とワクチン接種の一部補助を行いました。また牛豚飼養農場の飼養衛生管理基準に基づいた衛生指導に必要な費用の一部を補助しました。

ヨーネ病牛淘汰：	1 頭
牛白血病検査：	1,643 頭
BVD-MD 検査：	275 頭
BVD-MD PI 牛とう汰：	11 頭
BVD-MD ワクチン接種：	227 頭
AD 検査：	3,432 頭
AD ワクチン接種：	4,395 頭
衛生管理巡回：	276 回
牛予防液接種：	8,378 頭

4 1 群馬県種鶏場等衛生対策事業（自主）

県内種鶏場、育成場の衛生管理向上を目的に鶏のオールアウト後のサルモネラ検査等を家畜保健衛生所に依頼し実施した場合に、その経費を補助しました。

検査数： 50 検体

オ 家畜の衛生管理の強化

4 2 生産振興対策事業（優良はちみつ生産）（補助：群馬県）

はちみつの抗生物質等の残留検査に必要な経費の一部を補助して、群馬県産はちみつの品質向上を図りました。

検査件数： 120 検体

4 3 予防注射推進強化対策事業（助成：中央畜産会）

自衛防疫事業の効率的な推進及び予防注射接種率向上のための普及啓発を行いました。

対象自衛防疫団体： 33 団体

4 4 農場HACCP取組体制緊急強化事業（受託：中央畜産会）

農場のリスクマネジメントに有用な方式であるHACCP認証の普及を図るための調査、指導を実施しました。

指導戸数： 4 戸

4 5 農場H A C C P推進支援事業（自主）

農場H A C C Pの普及および農場H A C C P認証に取り組む農場の支援を行いました。

指導戸数： 4戸

4 6 地域豚疾病緊急対策推進事業（受託：中央畜産会）

養豚生産農場において生産性を阻害する要因となっている疾病を特定し、地域一体となった飼養衛生管理基準に基づいた疾病の発生低減・清浄化を図るため、獣医師による農場指導及び検査の推進を実施しました。

対象農場： 32戸

4 7 飼養衛生管理基準等緊急啓発普及促進事業（受託：中央畜産会）

飼養衛生管理基準の普及啓発により、生産段階における防疫措置、体制の強化を図るため説明会等を開催し、飼養衛生管理基準の普及推進を行いました。

委員会： 2回

説明会： 6回

4 8 馬飼養衛生管理特別対策事業（受託：中央畜産会）

競走馬以外の馬について飼養衛生管理等に関するアンケート調査を行い馬衛生管理技術の向上を図りました。また、馬飼養者を対象とした講習会を実施しました。

対象戸数： 62戸

実習： 1回 （平成29年11月22日）

講習会： 1回 （平成30年1月31日）

4 9 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（受託：中央畜産会）

乗用馬等の馬インフルエンザ予防のため、検討会を開催し、同病および馬鼻肺炎ワクチン接種について促進しました。

対象戸数： 16戸

助成頭数： 264頭

検討会： 2回

5 0 地域自衛防疫体制推進事業（受託：家畜衛生対策推進協議会）

地域における自主防疫活動の普及啓発のため、家畜防疫の重要性についての活動を行い、伝染性疾病の発生予防など、防疫措置の徹底を推進しました。

防疫演習：	県域 3 回	(①平成 29 年 7 月 12 日) (②平成 29 年 10 月 11 日) (③平成 29 年 10 月 19 日)
	地域 5 地域	(①平成 29 年 6 月 30 日) (②平成 29 年 9 月 28 日) (③平成 29 年 10 月 18 日) (④平成 29 年 11 月 9 日) (⑤平成 30 年 2 月、5 地域)

白血病対策：	6 農場
マイコプラズマ性乳房炎対策：	13 農場

5 1 野生獣衛生体制整備推進確立対策事業（受託：家畜衛生対策推進協議会）

家畜疾病の感染源となりうるイノシシ、シカの抗体保有状況等を調査するため狩猟者、関係機関との連携のもとに衛生検査を実施し、結果を検討しました。

実態調査	イノシシ：	8 頭
	シカ	： 21 頭
モニタリング	イノシシ：	66 頭
センサーカメラ		1 戸

5 2 農場飼養衛生管理強化推進事業（自主）

家畜生産農場の衛生強化のため、国補助事業・農場飼養衛生管理強化対策事業に該当しない農場指導について補助を行いました。実績はありませんでした。

5 3 家畜衛生推進事業（自主）

家畜生産農場清浄化のため、予防注射に必要な資材の購入、注射に要した費用の支払い等の事務を実施しました。

対象自衛防疫団体： 33 団体

（４）家畜の能力向上を促進する事業

5 4 肉用牛経営安定対策補完事業（補助：農畜産業振興機構）

要件を満たす繁殖雌牛を増頭した肉用牛経営に対し、その増頭実績に応じて奨励金を交付しました。

対象戸数：	44 戸
対象頭数：	159 頭

5 5 生産振興対策事業（家畜登録促進）（補助：群馬県）

家畜の血統整理や登録・登記を推進するため、有資格者の育成、研修会等への派遣を行いました。

有資格者の養成： 31 人

研修会派遣： 43 人

5 6 生産振興対策事業（乳牛等改良促進）（補助：群馬県）

各畜種ごとに群馬県畜産共進会を開催しました。また、第 11 回全国和牛能力急進会への出品対策を実施しました。

① 群馬県畜産共進会出品頭数

乳牛： 64 頭 (平成 29 年 10 月 29 日)

繁殖和牛： 53 頭、2 組 (平成 29 年 10 月 28 日)

肉豚： 68 頭 (平成 29 年 9 月 29 日)

山羊： 50 頭 (平成 29 年 8 月 24 日)

② 第 11 回全国和牛能力共進会出品頭数

8 頭 (平成 29 年 9 月 7 日～11 日、最終比較審査)

(宮城県仙台市 夢メッセみやぎ)

5 7 生産振興対策事業（高能力種豚安定供給体制確立）（補助：群馬県）

養豚農場へ導入した優良種豚の経費の一部を補助し、飼養管理に関する研修会を開催しました。

研修会： 1 回 (平成 30 年 2 月 15 日)

導入頭数： 8 頭

5 8 高能力繁殖雌牛保留推進事業（特別：家畜改良積立金）

繁殖能力の向上を図るため、高等登録牛から生産される雌子牛の保留を促進するために奨励金を交付しました。

対象頭数： 16 頭

5 9 和牛全共出品対策事業（特別：家畜改良積立金）

第 11 回全国和牛能力共進会の出品対策のための計画策定、出品候補牛調査、広報活動等を実施しました。

指導組合数： 8 組合

6 0 家畜共進会運営強化推進事業（特別：家畜改良積立金）

地域で行う家畜共進会の実施に必要な費用の一部を助成しました。

対象共進会数： 7 件

6 1 育種価評価活用促進事業（特別：家畜改良積立金）

県内で肥育された肉牛の産肉データ 6 形質を収集して育種価を解析し、広く公表することにより県内産肉牛の能力向上を図りました。また、その結果を解説する研修会を開催しました。

育種価データ数： 85,418 件

育種価評価頭数： 3,780 頭

研修会： 1 回

6 2 肉用牛産肉能力平準化促進事業（受託：家畜改良事業団）

肉用牛の産肉能力を評価するために、種雄牛を指定して交配する調整交配の手配、調査牛の取りまとめ頭を実施しました。

調整交配実施頭数： 73 頭

生産子牛頭数： 52 頭

6 3 山羊生産活用推進事業（自主）

日本ザーネン種山羊の普及、活用を推進するための情報交換を行いました。

研修会： 1 回 （平成 29 年 8 月 24 日）

6 4 和牛期待育種価情報提供サービス事業（自主）

父牛及び母牛の育種価から推定される生産子牛の期待育種価情報をインターネット上で提供しました。

利用者数： 4 人

6 5 家畜共進会褒賞交付事業（自主）

地区および地域で実施する家畜共進会の上位入賞者に対し賞状等を授与しました。

対象共進会等： 19 回

【収益事業１】畜産に関する収益事業

（１）家畜登録団体からの業務受託に関する事業

66～71 家畜登録事業（自主）

登録申し込みのあった家畜（乳牛、和牛、豚、山羊）の個体の確認、体型・特徴の記録、DNA検査のための試料の採取、血統の確認、登録料の代行収受、登録手続、登録証の送付等の事務を実施しました。

	登録・登記・ 審査・検定	調査・検査・ 移動証明	遺伝子型検査 (ゲノム)
乳牛	5,715 頭	623 頭	
和牛	7,171 頭	2,135 頭	235 頭
種豚	105 頭	2,376 頭	
山羊	83 頭		

（２）畜産生産者からの事務受託等に関する事業

72 養豚経営安定対策推進事業（生産者事務受託）

養豚経営安定対策事業参加者からの委託により、参加申し込み、補助金交付申請および養豚補てん金の請求手続き等の事務を実施しました。

対象戸数： 135 戸

対象頭数： 490,034 頭

【その他の事業１】畜産の振興を図る事業

（１）畜産団体からの事務受託等に関する事業

73～80 団体事務受託事業（事務受託：8団体）

事務受委託契約に基づき、団体の事務を受託、実施しました。

- ①群馬県乳牛改良協会
- ②群馬県和牛改良組合連絡協議会
- ③群馬県養豚協会
- ④群馬県養鶏協会
- ⑤群馬県種鶏孵卵協会
- ⑥群馬県養蜂協会
- ⑦群馬県家畜人工授精師協会
- ⑧群馬県畜産技術連盟

（２）その他の事業

廃棄物の処理と清掃に関する法律に基づく家畜の死体処理に必要な産業廃棄物管理票（マニフェスト）の販売、畜産生産者が家畜の抗体検査等を群馬県に依頼する場合に必要な証紙の売りさばき、畜産に関する情報提供、畜産に関する印刷物の販売等、本会が実施する事業に付随する畜産の振興を図るための事業を行いました。

4. 事業報告書の附属明細書について

平成29年度事業報告においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する、事業報告の内容を補足する重要な事項はないため事業報告の附属明細書はありません。